

平成28年度奈良県保険者協議会研修会

平成29年2月23日
市町村会館8階大研修室



平成29年2月23日、市町村会館8階大研修室において、奈良県保険者協議会の主催で平成28年度の研修会が開催された。

はじめに、奈良県保険者協議会の芝池一会長（奈良県国保連合会常務理事）から挨拶があった。



芝池会長

平成27年4月の高齢者の医療の確保に関する法律及び医療法の改正により、保険者協議会が法定化され、その役割がますます重要になっている。本日の研修会には幅広い職種の方々が参加されており、多いものになるよう祈念するなど、述べられた。

次に、奈良県歯科医師会の高田利之学術理事（高田歯科医院院長）を講師に、「口（くち）は命の入り口」と題して、講演があった。



高田学術理事

糖尿病と歯周病との関連性（むし歯と歯周病の違いなど）、臨床での事例から口腔ケアの重要性（ブラッシングなど）、人間として健康に過ごすためにどのような食育を行っていくか、生活を送っていくかについて、講演いただいた。

講演の最後に、質疑応答があった。電動歯ブラシについての見解についての質問に対し、「電動歯ブラシは、手が動く患者にはあま

り奨めていない。歯周病にならないためには毛先が歯茎に入ってほしい。電動歯ブラシのメリットは振り幅が小刻みでブラッシングできることだが、現在の電動歯ブラシでは歯周ポケットに毛先がほとんど入らない。」と、説明があった。

続いて、「誤嚥にナラん！体操」と題した演習があった。3名のトリーナーが登場し、一つ一つの運動を確認し、最後に参加者全員が起立して運動を行った。体操を一通り終えた後には、参加者から笑顔がこぼれていた。

研修アンケート結果では、講演、演習ともに「活用できそう」が8割を占めた。「地域で健康推進、重症化予防に向けて行っている教室に、今日の研修を活かす予定です」という具体的な意見も寄せられた。